

## 令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 光貞 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和6年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。（熱中症等の予防の観点から、20mシャトルランについては、5月中旬から6月上旬に実施しています。）

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動と一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部分です。

### 1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

### 2. 調査内容

#### (1) 実技に関する調査

〔8種目〕 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

#### (2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

### 3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

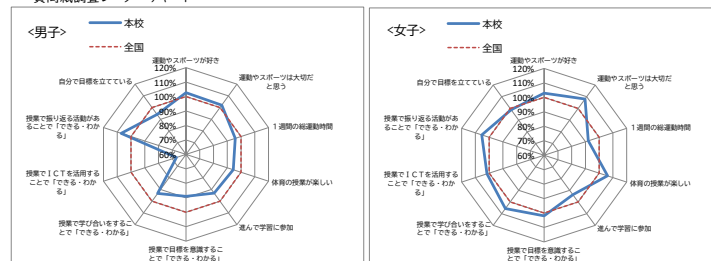
| 本年度の結果      | 握力    | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20mシャトルラン | 50m走 | 立ち幅とび  | ソフトボール投げ | 体力合計点 |
|-------------|-------|-------|-------|-------|-----------|------|--------|----------|-------|
| 全国          | 16.01 | 19.19 | 33.79 | 40.66 | 46.90     | 9.50 | 150.42 | 20.75    | 52.53 |
| 本市          | 15.98 | 19.39 | 34.42 | 40.27 | 49.36     | 9.54 | 150.13 | 21.81    | 53.10 |
| 本校全国平均以上の種目 |       | ○     |       |       | ○         | ○    |        | ○        |       |

<女子>

| 本年度の結果      | 握力    | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20mシャトルラン | 50m走 | 立ち幅とび  | ソフトボール投げ | 体力合計点 |
|-------------|-------|-------|-------|-------|-----------|------|--------|----------|-------|
| 全国          | 15.77 | 18.16 | 38.19 | 38.70 | 36.59     | 9.77 | 143.13 | 13.15    | 53.92 |
| 本市          | 15.88 | 18.39 | 38.51 | 38.13 | 38.67     | 9.79 | 142.58 | 13.44    | 54.32 |
| 本校全国平均以上の種目 |       |       |       |       | ○         | ○    |        |          |       |

### 4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



#### 質問紙調査の結果分析

本校は、全国平均を上回っている質問事項がいくつかある。特に、「運動やスポーツが好き」「運動やスポーツは大切だと思う」「授業で振り返る活動があることで「できる・わかる」が高い。このことから、運動することが好きで、運動の大切さを理解していることがわかる。今後の課題としては、ICTを活用して課題に気づかせたり、振り返りを丁寧に行ったりして、児童の理解を深めて充実感を味わわせたい。

### 5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科（授業）に関する取組（全校で・学年で・学級で）

授業では、学年や学級に応じて準備運動において、ジャンプアップ運動や縄跳び、キッズダンスなどを取り入れた。毎時間続けることによって、児童の体力が向上していることを感じることができた。今後も継続して体力の向上に努めていきたい。

#### ② 運動習慣等に関する取組（1校1取組）

今年度は、全校で「なわとびチャレンジ」を行った。長なわチャレンジは学級ごとのチャレンジ、短なわチャレンジは個人のチャレンジとして設定した。チャレンジに向けて休み時間に練習する姿が多く見られ、体力がついてきた。今後も取り組みを続けていきたい。